



## 特徴

- パナソニック(株)製高出力3D制御ファイバレーザーマーカ(LP-M205)を採用。
- レーザーマークとは、レーザービームを用いて表面処理を剥離させたり、材料自体を掘り込んだり、材料の組成を変化させて発色させたりしてマーキング。また、『表面を剥離させる』『材料を掘り込む』『材料の組成を変化させる』という要素はマーキングだけでなく加工にも利用可能。

剥離	掘り込み	発色
ワーク表面と基材のコントラストを出す	ワークに掘り込むことでコントラストを出す	発色部分とワーク基材のコントラストを出す

- Z軸コントロール機構により、加工面の高低差±2.2mmに印字可能。
- 形状が斜面・曲面・段差があっても3D制御により歪の無い綺麗な印字が可能。

## 実施例

- キーボードのキートップ文字印字。
- ノートパソコン用キーボードやゲーミングキーボード、あるいは、自動車の内装パネルの照光文字の加工。
- 銘版などのロゴ文字・シリアル番号の印字。

印字例： 左図上段文字サイズ：1.0mm(縦) \* 1.2mm(横)  
 (ABS樹脂) 左図下段シリアルサイズ：2.0mm(縦) \* 0.95mm(横)

- 樹脂別文字印字例：



## 主な仕様

項目	仕様
印字レーザー	Yb:ファイバーレーザー λ=1,064nm クラス4レーザー製品
可能印字範囲	440mm(幅) × 220mm(縦)
文字高さ・幅	0.1~220mm (0.01mm間隔で設定)
ロゴデータ	VEC、DXF、BMP、HPGL、JPEG、AI、EPS